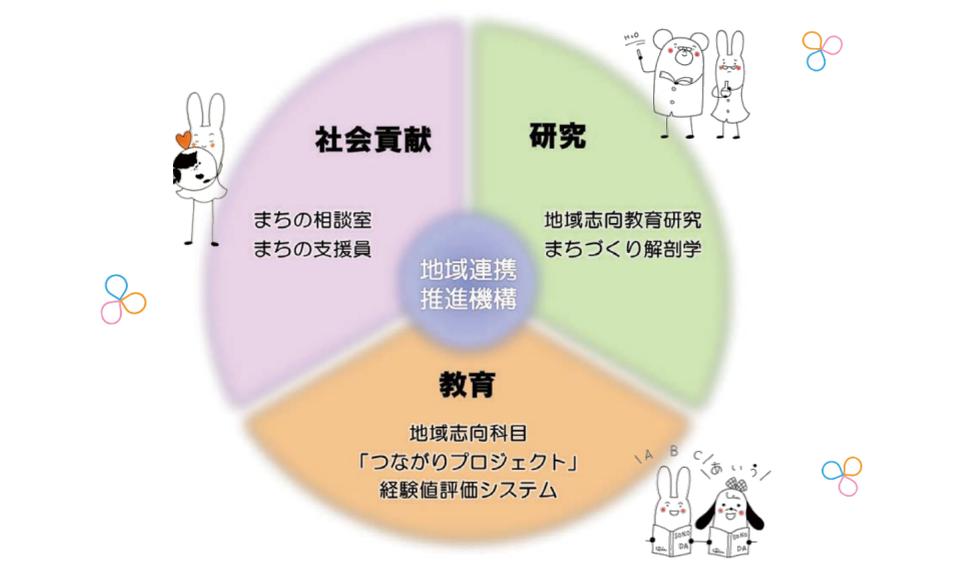


地域とともに50年 これまでも、そしてこれからも

園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部は、建学の精神「捨我精進（しゃがしょうじん）」のもと「地域と共に歩む大学」として、地域に開かれた大学づくりを推進してきました。本事業では、多様な地域課題のなかで「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」を中心に地域課題の解決に向けて、「知」の拠点としての役割を強化した全学的な教育改革を行います。

本学の教育コンセプトである循環型の「経験値教育」の実質化と尼崎市をフィールドに演習科目「つながりプロジェクト」を新設し、地域と共に調査・研究した後、提言を行います。人間力を高めることができたかを測る「経験値」を多角的に捉え、人と人の「つながり」を可視化することを一つの指標として、学生自身が「経験値」を自覚することができる新しい評価システムを構築します。「経験値教育」による、多面的に課題に向き合う、社会に有用な人材の育成を目指します。



健康づくり
単身高齢者の割合が高い
⇒ 介護予防の点からの健康の支援

学校教育
就学援助を受ける児童生徒
⇒ 確かな学力の定着に向けた取り組み

生涯学習
多様化・高度化するニーズに応じた学習やスポーツの機会の提供

子ども・子育て支援
単身世帯の割合や若年者の出産数が多い
⇒ 家庭・地域の子育て支援

地域資源を活用したまちづくりモデル構築のための基礎的研究

「地域に求められる養護教諭」養成の在り方～保健室ボランティア「保健室園女(援助)隊」の活動を通して～

地域志向教育研究
尼崎市の多様な地域課題のなかで「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」を中心に、地域のニーズを積極的に受け止めた調査・研究を推進

地域と取り組む防災教育

地域と大学がつながり、学びあふいきいき子育て支援

地域に向けた手洗い指導の拠点構築

タブレット端末を活用した授業における関心・意欲・態度に関する効果測定

平成27年度研究テーマ

健康意識の高い町・尼崎の土台づくりと食育の定着についで

地域日本語教育への提言ーボランティア育成の実践と課題ー

尼崎市に住む高齢者のための運動交流プロジェクト開発と実践

庄下川の河川環境を利用した児童生徒の熱の環境学習70グラムの構築

まちづくり解剖学
教職員・学生・自治体職員・地域住民等が集まり、地域社会の課題を共有し、意見交換する定期的な研究会

経験値教育

人材育成像 「経験値」の高い人材の育成
「経験値」とは、地域での学びを通して、教室で学んだ理論的なことが証明されたり、納得・実感することで、理論と実践がむすびつき、さらに次への学びへと発展させる「知識」を「知恵」に変える力

人材育成に地域の声を反映
●「まちの相談室」「まちづくり解剖学」において地域の課題を受けとめ、地域志向教育研究に反映
●学生の地域活動における地域の人々からの評価

人間健康学部
総合健康学科
人間看護学科
食物栄養学科

人間教育学部
児童教育学科

短期大学部
生活文化学科
幼児教育学科

2単位 通年 つながりプロジェクト
大学基幹科目
生命を考える・大学の社会貢献・女性と社会

全学を横断する経験値教育

「大学の社会貢献」(1年次・半期・2単位・選択)
大学が立地する尼崎市の特性と課題を学び、それらの課題の解決策について市に提案するそのことを通して、地域社会における大学の役割、学生自身が大学で学ぶことの意義と責任、自己が担うべき役割を自覚させるプロジェクト導入科目

「つながりプロジェクト」(2年次・通年・2単位必修・平成28年度開講)
尼崎市の地域課題に即したテーマについて、尼崎市や尼崎商工会議所等とともに取組み、課題解決に向けての企画、提言を行うPBL型の演習科目(通年)学部学科を横断することにより、複眼的、多面的に課題に向き合う力を養成

経験値評価システム
本学の特色である、「知識」を「知恵」に変える循環型の「経験値教育」を実質的なものとするために、新しい評価システムを導入
地域においてどれだけ「経験」を積み、人間力を高めることができたかということを学生が実感できる指標の策定

地域連携活動報告画面

学生が操作する地域連携活動報告ページ画面の上部はメインメニュー画面の右側は、ログインしている学生の各種情報の掲載
左側の大きなスペースでは、活動報告の入力や、つながりリストなどを掲載

つながりマップ画面

つながり状況が視覚的にわかりやすくまた「つながり」の数で満足感、充実感が感じられるような内容の出力実施
「つながりマップ」では地図を用いてつながった方々の写真と位置で表示!

住民コメントページ

住民が学生にコメントを寄せるページ
学生と住民の方とのつながりにコメントページにアクセスするための、IDとパスワードが発行され、住民の方は、迷うことなく、すぐにコメントの投稿が可能



みんなで尼いも。

～つなGirlがつなげてみせるぜプロジェクト～

学生地域連携推進委員会(つなGirl)の活動。地域の「つながり」が希薄であることを課題に、伝統野菜「尼いも」のキットを作成し、小学生が栽培。10年間で市の人口の約4分の1が「尼いも」を認知し、世代間の交流を図るという企画。 → 市主催のソーシャルビジネス・プランコンペで特別賞を受賞



0歳から100歳が共に生きる「のびのびタウン」

～地域資源を活かした安心・安全な街づくり～

人間看護学科・児童教育学科のゼミによる共同研究。小学校区をフィールドに、地域資源・防災・健康づくりをテーマに児童とともにまちの探検を行い、子どもたちがこれからも住み続けたいまち「のびのびタウン」を企画するプロジェクト。 → 学生プロジェクトプラン・コンペで兵庫県知事賞を受賞



大学COC事業における政策提言発表会

尼崎市・兵庫県立大学と共同で開催。「大学の社会貢献」の授業内コンペの優秀チーム「学☆まち尼崎」(総合健康学科・人間看護学科)「人でにぎわう公民館」(総合健康学科・人間看護学科・食物栄養学科)と「親子で発見めぐってボン!あまがさきスタンプラリー」(児童教育学科)が発表。

→スタンプラリーは2015年3月27日に尼崎市立杭瀬小学校で実施



経験値教育

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部

地域連携推進機構

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

Tel : 06-6429-9921

Fax : 06-6422-8523

E-mail : chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp

ホームページ : <http://www.sonoda-u.ac.jp/chiiki/>



地(知)の拠点

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

〈地域〉と〈大学〉をつなぐ 経験値教育プログラム



平成25年度、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に採択されました。尼崎市を中心とした地域での学びによって経験値を高める教育を目指しています。**健康づくり、学校教育、生涯学習、子ども・子育て支援**の4つの部門を設け、地域の拠点となり、地域課題の解決の一翼を担っています。〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラムは学部・学科を越えた横断的な教育・研究・社会貢献の体制を、**地域連携推進機構**を中心に築いています。

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部

平成27年度版



つなGIRL

まちの相談室

地域の皆様から、学生に向けた、ボランティアやイベント情報をお寄せいただいています。平成26年度には45件のご相談をいただきました。

「まちの相談室」は大学の窓口として、つなGirlまたは地域連携推進機構の職員がお話を伺います。開室日時については、お問い合わせください。

まちの支援員

地域のニーズを受け止め、「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」の各分野で人材を育成する講座等を開講しています。



まちの相談室

<予約制>

場所 本学5号館2階

まちの相談室

連絡先 学生地域連携推進委員会

メール sonodachiiki@gmail.com

お電話 06-6429-9921



学生地域連携推進委員会 (通称:つなGirl)

平成26年4月に発足した委員会

つなGirlの名前の由来は

学生と地域を「つなげる」「女子」大生

コンセプト

つながって、まきこんで、

楽しんで、笑顔が生まれて、

またつながって

まちの相談室で受け取ったボランティアや

イベント情報を学内に発信し、

地域と大学の仲介役になります



必ず事前にご予約ください。